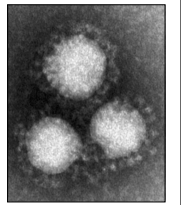


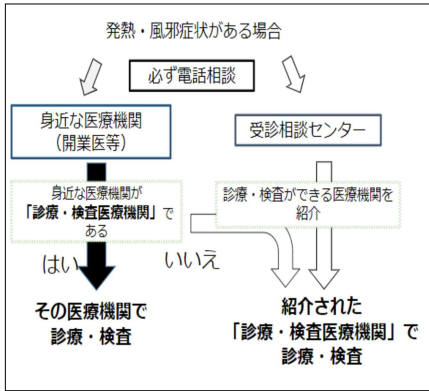
医師会だより



今冬の発熱に対する医療体制

必ず電話で相談してから

インフルエンザや風邪、新型コロナウイルス感染症を症状で診断することは困難です。直接の医療機関受診は、院内感染によるクラスター発生の危険性を高めます。医療機関内の感染対策のため、発熱や風邪症状の患者さんの診察時間や受付の方法などがこれまでとは異なっています。医療機関を



「あなたの笑顔が必要です！」

大村市医師会潜在看護師研修事業 看護師への復職を考えている方、復職のための研修を受けてみませんか。

受診する場合は必ず事前に電話をして確認してください。発熱や風邪症状で受診しようとする方はまず身近な医療機関か受診相談センターへ電話をしてください。自院で対応しない医療機関や相談センターは、診療・検査を受けることができる医療機関を紹介します。

新型コロナウイルス感染症のPCR検査は、体制を整えて県から指定された医療機関で可能です。綿棒を鼻に入れる方法と、唾液を集める方法があります。医療機関で異なります。唾液検査では、検査の前30分は食事、うがい厳禁です。電話で確認してください。

指定医療機関でPCR検査

新型コロナウイルス感染症のPCR検査は、体制を整えて県から指定された医療機関で可能です。綿棒を鼻に入れる方法と、唾液を集める方法があります。医療機関で異なります。唾液検査では、検査の前30分は食事、うがい厳禁です。電話で確認してください。

インフルエンザの検査は医師の判断

綿棒を鼻の奥に入れるインフルエンザの検査は昨シーズンまでのように簡単にはできなくなりました。検査は医師が必要と判断して安全に実施できる場合に実施されます。検査なしでも医師がインフルエンザと診断し、抗インフルエンザ薬を処方する場合があります。

夜間初期診療センターでは検査は実施せず

この冬、夜間初期診療センターでは、コロナ、インフルエンザの検査は行いません。検査を期待しての受診はやめるようお願いいたします。今まで同様、発熱や風邪の初期症状の診療は行いますが、必ず電話をかけて受診してください。

深夜の時間帯受診は避けて

夜遅い時間帯、発熱の症状だけで医療センター、市民病院へ受診すると、救急・重症で搬送されてきた患者さんの診療に影響を及ぼ

インフルエンザ予防接種

インフルエンザワクチンはあまり効果がないなどの否定的な意見もありますが、今年に限っては高齢者や基礎疾患を持つ方々に優先的にワクチンを接種し、できるだけ接種率を上げて集団免疫効果を期待しようという国の方針が伝えられています。

居している方々は、家族全員が接種することをお勧めします。

コロナ感染症が落ち着くまでは、インフルエンザ感染症に対する万全な備えを行い、合併症によって死亡する方々を少しでも減らすことができるように、ぜひインフルエンザワクチンを接種してください。高齢者や基礎疾患のある方と同

をえにもインフルエンザに備えをすることを勧めます。家族全員が接種することをお勧めします。

【医心伝心】
人びとを病気から守り安心して生活できる様にするのが医療の役割です。未知の感染症で生活が脅かされている今、全ての医療関係者が一丸となって全力で頑張っています。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

詳しくは大村市医師会まで。